

塔南高校学校運営協議会方向性

塔南高校学校運営協議会の設置研究協議会

I なぜ学校運営協議会を設置するのか

～よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を
学校と地域・社会が共有し、社会との連携及び協働によりその実現を図る～

塔南高校

学校の教育活動を通して、将来地域・社会に貢献できる人を育むために
地域・社会との連携及び協働により、教育内容の改善充実を図る学校の応援団を作りたい。

地域・社会

高校生の主体的な行動力を生かし、よりよい地域・社会をつくるために
地域・社会の課題に対し、高校生が地域・社会とともに考え、行動することで、地域・社会を担う主体者としての自覚を培う。

II 現状・課題は？

塔南高校

塔南高校では、キャリア教育で生徒の将来に必要な力の育成や、働く人々との交流を通して社会貢献や働く志を知る活動を実施している。

→しかし、活動にリアリティがないため、生徒が将来を描けていない。

地域・社会

小・中学校では地域や保護者が参画する事業が多いが、高校の教育活動を知る機会が少ない。→地域連携事業を、「お手伝い」ではなく、地域を知る機会にしたい。

III どのような学校運営協議会が必要か

学校で学ぶことと社会で学ぶことを融合させる学校運営協議会

- 学校と地域・社会（地域団体、企業、大学、行政、NPOなど）の活動をつなぐため、サポートボード（地域協働部会）を設置。
- 教育活動の「見える化」、地域・社会との「つながり」を意識した取組を実施し、互いに意義のある持続可能な取組とする。
- 生徒が、働く方との交流などにより密接に関わることで、日常生活が様々な地域活動や経済活動とそれを担う多くの方に支えられていることを知るなど、リアリティのある活動を実施する。

教職員・生徒・地域社会が協働する学校運営協議会

- 教職員と生徒、地域・社会の方々が意見交換し、
高校に求められる役割や高校生に必要な力を付ける取組を実施する。
- 生徒も参画し、自分たちの学校生活を教員や地域・社会とともに充実させる。

学校評価の結果を次の取組につなぐ学校運営協議会

- 学校が自己評価と学校関係者評価の結果・分析内容を示し、改善すべき内容や新しい取組に、学校とともに着手し実現に結びつける「学校評価部会」の設置。
- 学校関係者評価の1団体ではなく、「学校評価」の結果を次の取組につないでいく。